

高台へ避難議論生じる

3.11 学校の教訓

③ 福井の教員ら被災地視察

屋上の危険性 教職員共有



避難先の高台に立ち、津波の到来を見下ろした当時を振り返る麻生川さん(中央)＝2月22日、宮城県南三陸町



た教頭は倒れ込んで起き上がれない。四つんばいのまま、校長の麻生川教員さん(67)と目を合わせて言った。

「校長先生、高台ですね！」

3階建て校舎の「屋上避難」派だった麻生川さんも「高台ですよ」。避難先の確認に思わず同意した。

高台は国道を横断した400メートル先の山にあり、学校に残っていた91人の児童たちとともに走り出した。

凍えるような寒い日だった。汗びしょりになった。冷や汗だった。「もう怖くて」

麻生川さんは2月22日、被災地視察研修の一行を高台に案内し、そこから見下ろした津波を回想した。

押し寄せる波は、バリバリバリと耳をつんざく音を上げてきた。

津波は最終的に23の地点に達した。児童や地域住民が避難した神社付近は島のようになって孤立したが、たき火を囲んで一夜を過ごす全員が助かった。

麻生川さんは震災の2年前、教頭から校長となり、同校に赴任。マニュアルを確認すると、避難先は高台だった。国道を横断して逃げることに、過去の津波は校舎の1階で止まっていたことから「絶対に屋上避難がいい」と感じて、赴任1年目にあつた防災訓練で、

住宅を壊していった。自宅の惨状に泣き出す子もいたが「思ったよりも津波が小さい気がする」。高台では命の危うさは感じなかった。

「校長先生、ここは大丈夫ですかね？」

教務主任の問いかけに、安心しかけた気持ちのスイッチが切り替わった気がした。同時に、津波が盛り上がったように見えた。さらに高い場所の神社への避難を指示した。ほとんど、ささきまいた高台に到達した津波は2階建てアパートを押し流した。遠くで3階建ての校舎のみみまれるのが見えた。「屋上避難を選んでいたら戸倉小は全滅だった」

2年目は屋上と高台の両方で避難訓練をした。震災で臨機応変に行動できたのは「たくさん意見を出し合って、共有できていたから」と麻生川さんは話す。

同じ宮城県の女川町では、上司の指示で高さ10メートルの銀行屋上に避難した行員12人が約20分の津波の犠牲となった事例もある。

福井県から研修に参加した嶺南西特別支援学校小浜市の国順校長54は「命を守る行動に結びつけるために、平時から重要な約束事を共有しておくことが必要。普段から建設的に提案や議論できる職場風土にしていきたい」と語った。(近藤洋平)

男性への暴行疑い同僚ら4人追送検

東京 踏み切り人捜査終結

東京都板橋区の踏み切りで2023年12月、自殺に見せかけ男性(当時56)を同僚が殺害したとされる事件で、警視庁捜査1課は12日、男性への暴行容疑で塗装工事会社社員2人(建築)「東京都市小市」の代表取締役佐々木容疑者(39)ら4人を追送検した。

他に追送検したのは、いずれも社員の島田明仁容疑者(34)と岩出篤哉容疑者(30)、野崎俊太容疑者(39)。捜査1課は、連日の捜査を終結したと明らかにした。

4人の追送検容疑者は23年12月2日午後10時11時半ごろ、社員だった高野修之の都内にある当時の自宅を顔面を殴り倒した疑い。高野さんはその後、島田容疑者と野崎容疑者と踏み切りに向かい、電車にはねられた。

両容疑者は同12月3日午前0時10分ごろ、高野さんを踏み切り立ち入らせ、電車にはねられるよう仕向けて、鉄道会社の業務妨害したとして、威力業務妨害などの疑いで追送検された。同課は4人の認否を明らかにしていない。

4人は共謀して高野さんを車に乗せて監禁、踏み切りで連行して電車にはねられるよう仕向け、殺害した疑いで24年12月に逮捕された。

と、修二会は大仏開眼と同日752年から続き、古都京市で12日、「お水取り」の名で知られる仏教修行「修二会」に、長さ約8メートルの「童子」と呼ばれる世話役が担いだ籠たいまつを大きな明かりに導かれ、修行僧が次々と入堂。童子がたいまつを欄干から突き出し火の粉が舞うと、参拝客らが沸いた。

○修二会は1日に始まり、お水取りの呼び方の由来となった十一面観音に供える水「お香水」を「若狭井」からくみ3日未明の儀式を経て15日に満行を迎える。

東京・動画配信中の女性死亡 傷30カ所以上、強い殺意か

東京都新宿区の路上で動画配信中の女性が刺され死亡した事件で、女性の首や胸には30カ所以上の刺し傷があったことが12日、警視庁捜査1課への取材で分かった。同課は殺人未遂容疑で逮捕した高野健一容疑者(42)に強い殺意があったとみている。「女性に金を貸すために貯金を崩し、消費者金融に借金をした」と供述しており、容疑を殺人に切り替えて詳しい経緯を調べている。

女性は佐藤愛里さん(22)。1人で歩いていたところを突然襲われ、転倒後も刺されたという。司法解剖の結果、死因は出血性ショックだった。高野容疑者は「借金を返済しないのに、配信で稼いでいくことにやり切れない気持ちになった」と話している。

捜査1課によると、事件に使ったサバイバルナイフを栃木県小山市の自宅から所持。2月3日午前11時に通信販売で購入したと説明している。当日は午前8時ごろに同市の小山駅を出発し、佐藤さんの配信を見て居場所を確認。午前9時半ごろ、

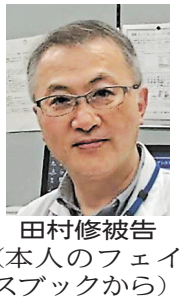
同署によると、女性に暴行を加えたとして2月26日に逮捕された傷害事件の取り調べ中だった。

○詐欺疑いで再逮捕 福井南署は12日、詐欺の疑いで住所不定、無職宮地海斗容疑者(24)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日午後7時20分ごろ、福井市内のインターネットカフェで、利用料金4950円を支払わなかった疑い。

札幌・頭部切断

父の殺人ほう助認めず

地裁 隠匿など猶予判決



田村修被告(本人のフェイスブックから)

田村修被告(61)の裁判員裁判判決で札幌地裁は12日、「娘が殺人などに及ぶことへの認識が立証されたとはいえない」として、殺人や切断行為のほう助罪を認めなかった。その上で、娘が自宅に頭部を隠すのを容認し、損壊する様子を撮影したのは死体遺棄、損壊のほう助に当たるとして懲役1

由で「瑠奈被告が事件前に計画を話したとはうかがわれない」と判断。

一方、弁護側は「瑠奈被告が頭部を自宅に持ち込んだ時点で犯罪は終了している」「撮影しただけで手助けに当たらない」として死体遺棄ほう助罪などの成立を争ったが、渡辺裁判長は「黙認したことで瑠奈被告の行為を物理的、心理的に容易にした」と退けた。

その上で「瑠奈被告との関係が元に戻らない限り再犯の恐れはない」として刑の執行を猶予した。

判決によると、瑠奈被告が23年7月1日夜に男性を殺害後、切断して持ち帰った頭部を同月下旬まで自宅に隠し続けて遺棄するの行為をされたという。

男性は北海道恵庭市の会社員浦田志さん(当時62)。検察、弁護側双方によると、瑠奈被告は同5月下旬に札幌市のクラブで知り合い、ホテルで望ましい行為をされたという。

審理では親子関係に焦点が当たった。検察側によると、娘の瑠奈被告(31)「殺人」「ドライバーさん」と呼んでいた。修被告は昼間問わず、買い物やゲームセンターなど娘が希望する場所から車で送迎した。

自宅は娘の物であふれ返り、足の踏み場もない状態。修被告の生活スペースは近く、近所のインターネットカフェで寝泊まりした。検察側は「奴隷のように扱われても反論や叱るようなことはせず、従っていた」として、

娘に従う特異な関係

殺人と死体領得の各ほう助罪は認定できないとし、求刑を大きく下回り執行猶予が付いた判決にも、表情の変化は見られなかった。

渡辺史朗裁判長は判決理

海自ヘリ2機引き揚げ

伊豆諸島の鳥島東方海域で昨年4月、海上自衛隊のS-60K哨戒ヘリコプター2機が訓練中に衝突して墜落し、計8人が死亡した事故で、海自は12日、水深約5500メートルの海底に沈んでいた2機の主要部を引き揚げたと明らかにした。破損した機内などから複数の人の遺体も見つかり、身元の確認を進める。海自と契約を結んだ米軍が海洋作業船を派遣し、8日に現場海域に到着していた。海自によると、2機は同1海域に沈没。作業船から遠隔操作型無人潜水機

石川一雄さん死去

狭山事件の再審請求中 86歳

埼玉県狭山市で1963年に女子高校生(当時16)が殺害された狭山事件で、無期懲役が確定し服役後に仮釈放され、冤罪を訴えて裁判をやり直す再審を求めた石川一雄(一雄)さんが、11日午後、肺炎のため東京都の病院で死去したことが12日、関係者への取材で分かった。86歳、狭山市出身。77年に第1次、86年に第2次の再審請求を申し立てたが、いずれも認められなかった。2006年に東京高裁に第3次請求を申し立て、審理が続いていた。弁護団は再審請求で、警察による証拠捏造の可能性や、検察側の証拠開示の不十分さを問題視していた。石川さんや支援者は「冤罪が晴れるまで応援をお願いします」などと訴えていた。

誌で活躍した料理研究家、ビッグイシュー基金共同代表の枝元なほみ(えだもと)さん(本名東菜穂美)が2月27日午後11時29分、間質性肺炎のため東京都の病院で死去した。69歳、横浜市出身。葬儀は近親者で行った。明治大卒。劇団「彫形劇場」で俳優をしながら劇団員に料理を作る担当。無国籍料理店のシェフも経て、劇団解散後に料理研究の道に進んだ。「きょうの料理」「はなまるマーケット」「あさイチ」などのテレビ番組に多数出演。「枝元なほみのめし炊き日記」「捨てない未来」など多くのエッセーやレシピ本を執筆した。



あんずちゃん

田中しょう

枝元なほみさん死去

69歳料理研究家

素材の味を生かした家庭料理で人気を集め、テレビ番組や新聞、雑誌

狭山事件 1963年5月1日、埼玉県狭山市の女子高校生(当時16)が行方不明になり、自宅に脅迫状が届いた。身代金受け取りのため現れた犯人を埼玉県警が取り逃がし、同4日に遺体が見つかった。県警は現場近くに住む石川一雄さんを強姦殺人容疑などで逮捕。77年に最高裁で無期懲役が確定した。弁護団は2006年に申し立てた第3次再審請求で、脅迫状と石川さんの筆跡が異なるなど主張し、東京高裁で審理が続いていた。

枝元なほみさん死去

69歳料理研究家

素材の味を生かした家庭料理で人気を集め、テレビ番組や新聞、雑誌

枝元なほみさん死去

69歳料理研究家

素材の味を生かした家庭料理で人気を集め、テレビ番組や新聞、雑誌